

## 実践記録 第5学年 総合的な学習の時間

1 単 元 災害後の復興の努力を知ろう

### 2 教科の目標

意見交流により、伊勢湾台風後の人々の復興への努力について知ることができる。

(思考)

### 3 ICT活用の観点

分かりやすい発表・表現

### 4 活用したICT

電子黒板セット

### 5 ICT活用のポイント

統合ソフトのプレゼンテーション機能を使い、グループで調べた伊勢湾台風後の人々の復興への努力について発表する。聞き手に分かりやすい発表となるように電子黒板の拡大機能を使って、焦点化を行う。伝えたいことを明確にすることによって、発表後の意見交流がより活発になるように留意する。

### 6 実践の様子

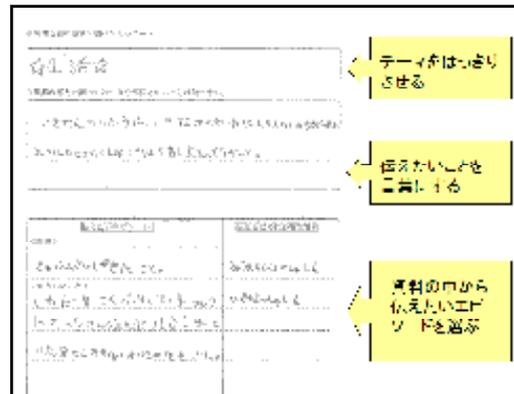
伊勢湾台風の災害後の人々の復興への努力について、グループごとにテーマを設定し、地域の人々へのインタビューや書籍・インターネットを使った調べ学習を行った。ワークシートでグループごとに伝えたいエピソードを明確にし、統合ソフトのプレゼン機能でスライドを作成した。(資料①)

発表会では、グループごとに伝えたいエピソードについて説明したスライドを使い、電子黒板の拡大機能を使って、見てほしい箇所を拡大し、提示することで焦点化しながら伝えることができた。そのため、発表が苦手な子どもも「みんなが一生懸命に聞いてくれた」「伝えたいことが分かりやすく伝えられた」という思いをもつことができた。(資料②)

発表後の意見交流では、発表を聞いて分かったことや疑問に思ったことをカードを使って伝え合った。伝えたいことが明確になったことで、活発な意見交流を行うことができ、学習内容の理解を深めることができた。

### 7 成果と課題

- 電子黒板の拡大機能を使うことによって、受け手の意識を焦点化することができ、伝えたいことが明確になり、分かりやすく発表をすることができた。発表者の自信を深めることができ、意見交流も活発になった。
- 電子黒板の操作がスムーズにできずに、発表のテンポが悪くなってしまうグループがあった。



資料① ワークシートにまとめた意見



資料② 電子黒板を使った発表